

1 歴史的仮名遣い／竹取物語

名前

年組番

100点

1 「歴史的仮名遣い」 次の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

5点×9

- ① あはれ ( )
- ② くちをし ( )
- ③ まうす(申す) ( )
- ④ おほかた ( )
- ⑤ いみじう ( )
- ⑥ けふ(今日) ( )
- ⑦ せむかたなし ( )
- ⑧ こゑ(声) ( )
- ⑨ にほひ ( )

2 次の古文を読み、あとの問いに答えなさい。

5点×11

今は昔、竹取の翁といふものありけり。  
野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いと うつくしうて ゐたり。

〔「竹取物語」より〕

(1) 「歴史的仮名遣い」——線A「いふ」、イ「よろづ」、ウ「使ひ」、エ「なむ」、オ「ゐたり」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

- |   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|
| ア | ( ) | イ | ( ) |
| ウ | ( ) | エ | ( ) |
| オ | ( ) |   | ( ) |

(2) 「古語の意味」——線①「あやしがりて」、②「いと」、③「うつくしうて」の意味を書きなさい。

- |   |     |
|---|-----|
| ① | ( ) |
| ② | ( ) |
| ③ | ( ) |

(3) 「動作の主体」——線A「寄りて見るに」はだれの動作ですか。古文中の漢字一字で書きなさい。

(4) 「助詞の省略」——線B「筒の中光りたり」を現代語訳するとき、「筒の中」と「光りたり」の間に補う助詞を一つ書きなさい。

筒の中 □ 光っていた

(5) 「文学史」 竹取物語が成立した時代を書きなさい。

( ) 時代

## 1 歴史的仮名遣い／竹取物語

名前

年組番

100点

1 「歴史的仮名遣い」 次の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

5点×9

- ① あはれ (あわれ)  
 ② くちをし (くちおし)  
 ③ まうす (申す) (もうす)  
 ④ おほかた (おおかた)  
 ⑤ いみじう (いみじゅう)  
 ⑥ けふ (今日) (きょう)  
 ⑦ せむかたなし (せんかたなし)  
 ⑧ こゑ (声) (こえ)  
 ⑨ にほひ (におい)

2 次の古文を読み、あとの問いに答えなさい。

5点×11

今は昔、竹取の翁<sup>おきな</sup>といふものありけり。  
 野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使<sup>つ</sup>ひけり。名をば、さぬきの造<sup>みなづ</sup>となむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋<sup>ひとすぢ</sup>ありける。あやしがりて、寄<sup>A</sup>りて見るに、筒<sup>B</sup>の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いと うつくしうて ゐ<sup>オ</sup>たり。

〔「竹取物語」より〕

(1) 「歴史的仮名遣い」——線A「いふ」、イ「よろづ」、ウ「使ひ」、エ「なむ」、オ「ゐたり」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

- ア (いう) イ (よろず)  
 ウ (つかい) エ (なん)  
 オ (いたり)

(2) 「古語の意味」——線①「あやしがりて」、②「いと」、③「うつくしうて」の意味を書きなさい。

- ① (例) 不思議に思つて  
 ② (例) たいそう・とても  
 ③ (例) かわいらしい様子で

(3) 「動作の主体」——線A「寄りて見るに」はだれの動作ですか。古文中の漢字一字で書きなさい。

翁

(4) 「助詞の省略」——線B「筒の中光りたり」を現代語訳するとき、「筒の中」と「光りたり」の間に補う助詞を一つ書きなさい。

筒の中 □ 光っていた

が

(5) 「文学史」 竹取物語が成立した時代を書きなさい。

(平安) 時代